

資料 6

平成30年度 市町村トップセミナーを開催しました

2月4日
約220名が
参加！

平成30年度市町村トップセミナー

祝！ 2025年の万博 日本、大阪・関西での開催が決定！ 祝！

生涯現役社会 ～健康長寿社会の実現をめざして～

日時	平成31年2月4日（月） 13時30分～16時
会場	シティプラザ大阪 2階「旬」 大阪市中央区本町橋2-31 (TEL)06-6947-7888



【プログラム】

- 13:30
開会挨拶 松本 昌親氏
(公財)大阪府市町村振興協会副理事長
(千早赤阪村長)
- 来賓挨拶 濱田 省司氏
大阪府副知事
- 13:40～14:25
基調講演
『人生100年時代に対応した『明るい社会
社会保障改革』の方向性 ～産業構造審議
会2050経済社会構造部会の検討状況～
講師
風木 淳氏
経済産業省 大臣官房審議官
(経済産業政策局担当)
- 14:25～14:40
名刺交換会 3階「コックウォールズ」
- 14:40～16:00
パネルディスカッション
- パネリスト
風木 淳氏 経済産業省 大臣官房審議官 (経済産業政策局担当)
森下 竜一氏 大阪商工会議所 ライフサイエンス振興委員会 副委員長 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
コーディネーター
大谷 邦郎氏 グッドニュース情報発信塾 塾長
- 藤井 睦子氏 大阪府健康医療部長
阪口 伸六氏 (公財)大阪府市町村振興協会 理事長 (高石市長)

生涯現役社会を実現 するために今、自治 体が何をすべきか！

産業構造審議会2050経済社会構造部会での取組をご紹介いただき、経済産業省・自治体・企業の連携による健康長寿社会の実現のため活発な討論をしていただきました。

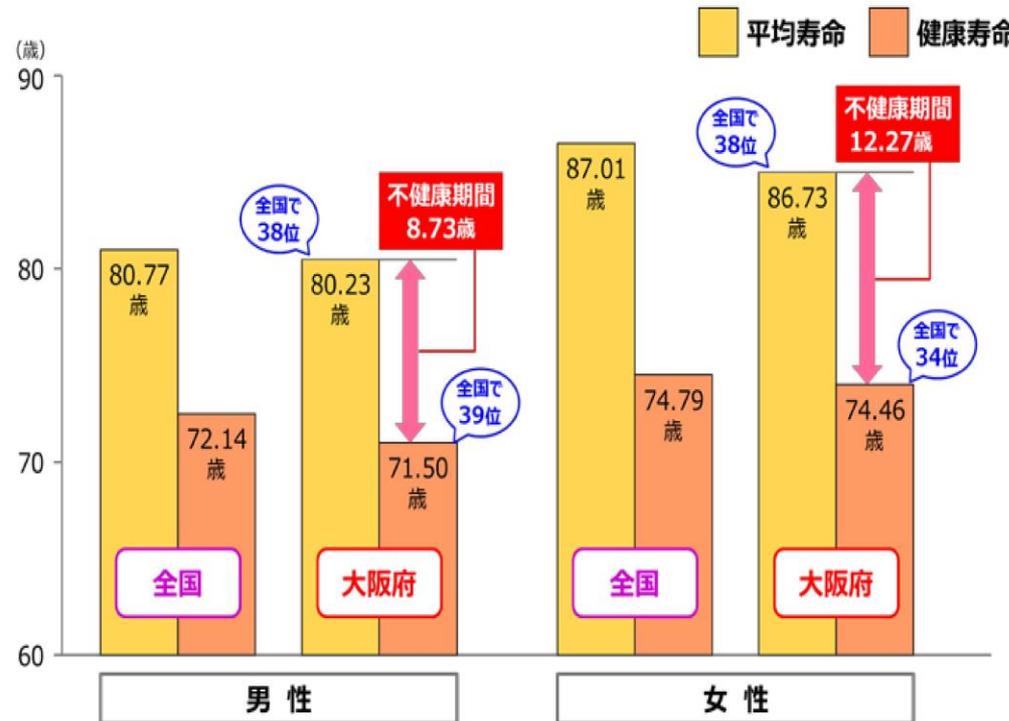


主催：公益財団法人大阪府市町村振興協会 TEL:06-6920-4565
おおさか市町村職員研修研究センター E-mail:center-tr@masse.or.jp

大阪府下市町村長・行政担当者・市町村議会議長や、大阪府及び大阪商工会議所会員企業など多数ご参加いただきました！

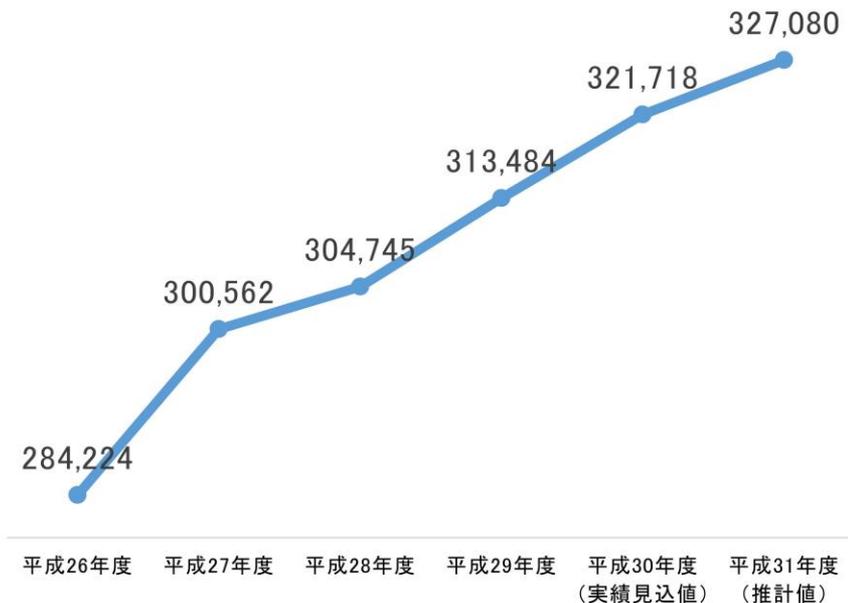
大阪府の健康指標の現状と課題

▼平均寿命と健康寿命の状況（全国・大阪府）



平均寿命：厚生労働省都道府県生命表（平成27年）
健康寿命：厚生労働科学研究班報告書データ（平成28年）

▼市町村国保 一人あたり保険給付費の推移^(円)

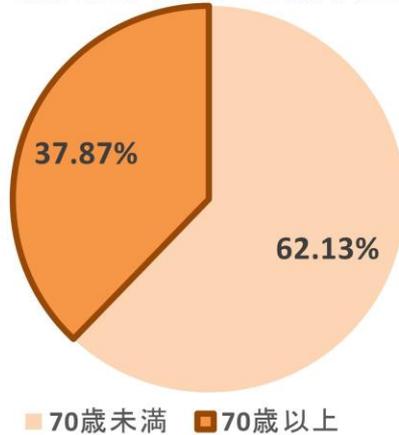


平成31年2月4日市町村トップセミナー大阪府発表資料より

大阪府の健康指標の現状と課題

▼市町村国民健康保険の診療費見込み【H31】

～総診療費に占める70歳以上の割合～



～一人あたり診療費の状況～



▼市町村国保における健診受診等の状況

- ・特定健診受診率 (H28) 【府平均30.0%】(全国平均36.6%) **全国42位**
- ・特定保健指導実施率(H28) 【府平均15.8%】(全国平均26.3%) **全国42位**

▼市町村国民健康保険 保険者努力支援制度【H30評価】(都道府県分1人あたり交付額) **H31評価はさらに低下見込み**
市町村取組33位、医療費水準34位、都道府県の取組5位 【総合**全国43位**】

健康づくり・医療費適正化の取組強化

健康づくりに向けた
オール大阪の気運醸成

大阪版健康マイレージ事業
の実施

市町村支援の強化

おおさか健活マイレージ「アスマイル」と 健幸ポイントの連携



平成31年10月より
府内全市町村
本格実施

電子マネーやクーポンが当たる
大阪府のおトクな健康アプリ

おおさか健活マイレージ
アスマイル

2019年1月21日スタート!
大阪市・門真市・岬町
先行リリース!
※2019年10月 全府内対象サービス開始



ポイント区分

3階	市町村独自オプション (市町村の希望に応じて追加。カスタマイズに要する費用は市町村の負担)	
2階	国保分 (40歳以上の国保被保険者)	医療保険者独自オプション (医療保険者の希望に応じて追加。カスタマイズに要する費用は医療保険者の負担) (例) 協会けんぽ、健保組合等
1階	府民分 (満18歳以上の府内市町村在住・在勤者) ※ただし、当面は在住者が対象	

連携

連携の利点

- ・独自ポイント導入により国保以外の参加者も補完
- ・参加者は使い慣れたシステムを利用可能

健幸ポイントによる公民連携事業（案）

高石市健幸のまちづくり協議会 「高石健幸ポイント」

- ・市民約3,000人が参加
- ・歩数や健康行動によって得られたポイントを商品券などに交換

事業連携

三井化学株式会社 「ヘルシーマイレージ合戦！」

- ・直近3年間で延べ18,000人を超える社員が参加
- ・運動量や健康的な生活によって得られるマイルを健康グッズに交換



連携のメリット

- ・参加者は市内で使用できる商品券などを獲得可能
- ・商品券を市内で使用することで経済の活性化に寄与

高石市健幸のまちづくり協議会事務局
高石市健幸づくり課スマートウェルネス推進室

健幸ポイント

歩こう！ 貯めよう！ 使おう！

一歩一ポ！はじめよう！

健幸ポイント事業とは何ですか？
スマートフォンアプリまたは活動時計を使ってポイントを貯めよう！
貯まったポイントは無期限の賞品と交換できます！

健幸ポイントを貯めるには	健幸ポイントの使い方
歩く イベント参加 受診	商品券 寄付 グッズ交換

期間 平成29年10月～ 募集人数 3,000人

募集対象 20歳以上の高石市民

参加条件 参加規約への同意、歩数計管理サービスへの登録

問い合わせ先 高石市健幸のまちづくり協議会事務局 高石市健幸づくり課スマートウェルネス推進室 072-267-1161

Mitsui Chemicals NEWS RELEASE
〒105-7122 東京都港区東新橋1-5-2 三井化学ビルディング 三井化学株式会社
2018年12月27日
三井化学株式会社

三井化学が「スポーツユエルカンパニー」に2年連続認定

三井化学株式会社（東京都港区、社長：淡輪敏）は、スポーツ庁より平成30年度スポーツユエルカンパニーに2年連続して認定されました。昨年度から始めたこの制度は、スポーツに対する社会的気運の醸成を図ることを目的に、従業員の健康増進のため、スポーツの実施に向けた取り組みを積極的に進めている企業を認定するものです。当社は、社内で実施している「ヘルシーマイレージ合戦！」への取り組みが評価されました。



当社は、社員の健康増進を労働安全や環境保全と同様に重要な活動として経営方針に組み込んでおり、「組織ぐるみで取り組み、全社員が進んで参加する」活動の浸透を図っています。「ヘルシーマイレージ合戦！」は、国内9事業所と出向者（海外赴任者含む）が参加対象であり、3～6名で構成される任意のチーム又は個人でエントリーし、運動量や健康的な生活によって得られるマイルを、ゲーム感覚で楽しみながら貯める3ヶ月間のプログラムです。マイルはパソコンやスマホアプリから手軽に入力できます。年に2回の実施により、直近3年間で、延べ1万8千人を超える社員が参加しました。また、2017～2018年度は、「若年層からの健康教育等の計画的実施」を全社の重点課題として掲げ、この中で若年層にフォーカスした運動教室等を各事業所で展開しています。なお、本社を含めた計9事業所の健康管理室に配置している専属産業医や保健師、衛生管理者が運用・推進し、小規模事業所や関係会社の主要工場の福祉産業医・看護師からの協力も得ながら、グループ社員の健康増進をサポートしております。

三井化学は今後も全社員の健康増進を図ると共に、運動を通じたコミュニケーションの活性化に努めています。

スポーツ庁ウェブサイト: http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1399048.htm

健幸アンバサダー（WA）プロジェクト 概要



背景と課題

- 国民の7割が健康無関心層
- 無関心層は自ら健康情報を取らない

- ヘルスリテラシーが上がらず、行動変容に結び付かない
- 施策やヘルスケアサービス産業が浸透しにくい

- コミュニティ単位で情報拡散される仕組みが必要
- 口コミを誘発させる広報は無関心層にリーチ出来る可能性を示唆

これまでの実績と現在

- ① 健幸アンバサダー養成数 **12,037人** 2018.12.31現在
- ② 自治体と企業が連携して養成する仕組みに成功⇒これまでとは異なる市民も参加
- ③ 平均一人のWAの口コミ力は14.9人中には、400人に伝えたWAも
- ④ 各地域でWAを活用すると無関心層の参加が高まるとの報告が多数あり

※ 2017・2018年度 厚生労働省モデル事業

～2030年

200万人養成が目標

- ① ヘルスリテラシー向上による健康無関心層の縮小
- ② 地域での健康づくり施策参加者増への貢献
- ③ 社会参加の場の提供と役割創出によるコミュニティの強化
- ④ ヘルスケア産業の活性化

- 健康無関心層も含めた予防・健康づくりの促進
 - 地域間の健康格差の解消
- 健康寿命の延伸へ

そこで！健幸アンバサダー

健康情報を大切な人に伝える伝道師（インフルエンサー）という**新たな社会的役割**

健康づくり＝「自分のため」＋「大切な人のため」という新たな考え方**健康格差の縮小**に寄与

2年間の成果

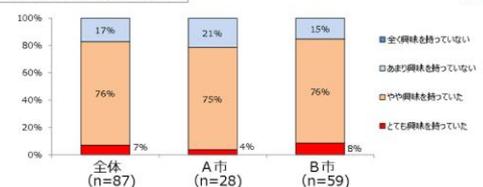
健幸アンバサダーによる健康情報の提供人数

情報を1年間で何人に伝達したか 一人当たりの情報伝達人数 **平均 14.9人/年**



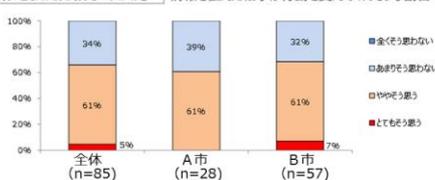
健康情報を受けた者における健康情報の関心度

情報を伝えた相手の反応 情報を伝えた相手が情報に興味を持った割合 **83%**



健康情報を受けた者における行動への意識

情報を伝えた相手の反応 情報を伝えた相手が行動を変えてくれそうな割合 **66%**



健幸アンバサダーのソーシャルキャピタルの向上

ソーシャルキャピタルが有意に **4.9ポイント**向上

